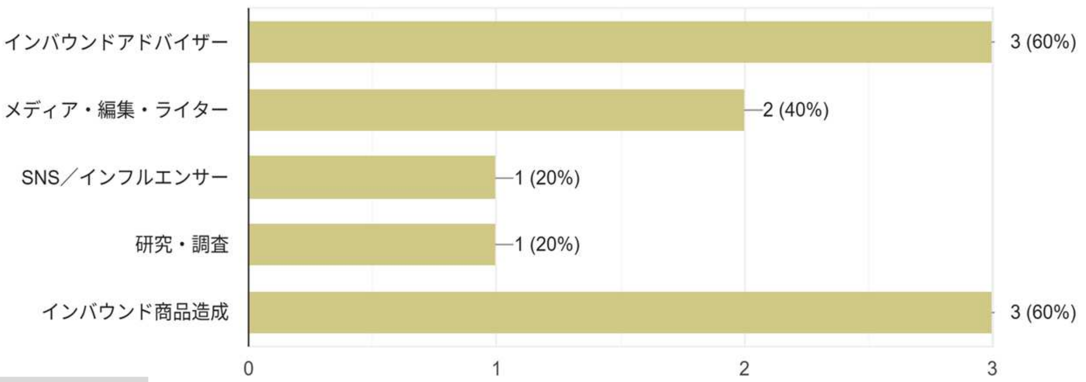
洲本市観光モニターツアーにおける参加者アンケート結果

令和8年（2026年）2月6日

USP JAPAN

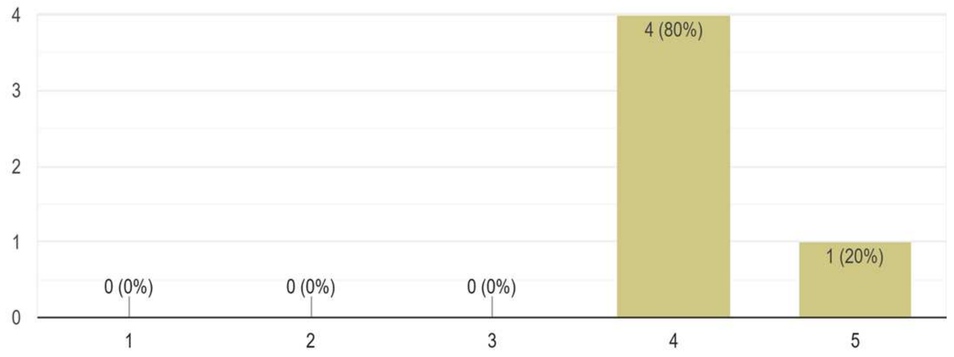
モニターツアー参加者アンケート結果

主なご専門・関与分野をお教えください（複数可）
5 件の回答

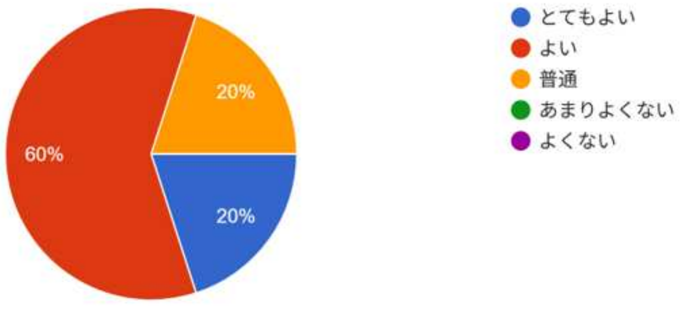


ツアー評価

1.今回のファムツアー全体の満足度（1=非常に不満 ／ 5=非常に満足）
5 件の回答



2.行程（2日間の構成・バランス）は適切でしたか
5 件の回答



3.有識者向け視察として、特に評価できる点があれば教えてください

●それぞれのコンテンツへ移動中での事前情報の提供がとても丁寧に感じました。また、各コンテンツにて、市や観光協会の方がこれまでの取り組みなどをご説明いただいたこともあり、コンテンツ造成を前進させようという意欲をしっかりと感じました。

●案内をしていただく方々（市役所、観光協会、USP）がみなさん地域のことをしっかり知っていて、質問したことについてすぐに答えが出てきたこと。これがなかなか他の地域ではあまりないので、非常に良いと思いました。

●事業者が良い。市の方の熱意を感じた。

●３日間の間に見せていただいた洲本のコンテンツが幅広く、とてもよく考えられた濃厚なプログラムでした。

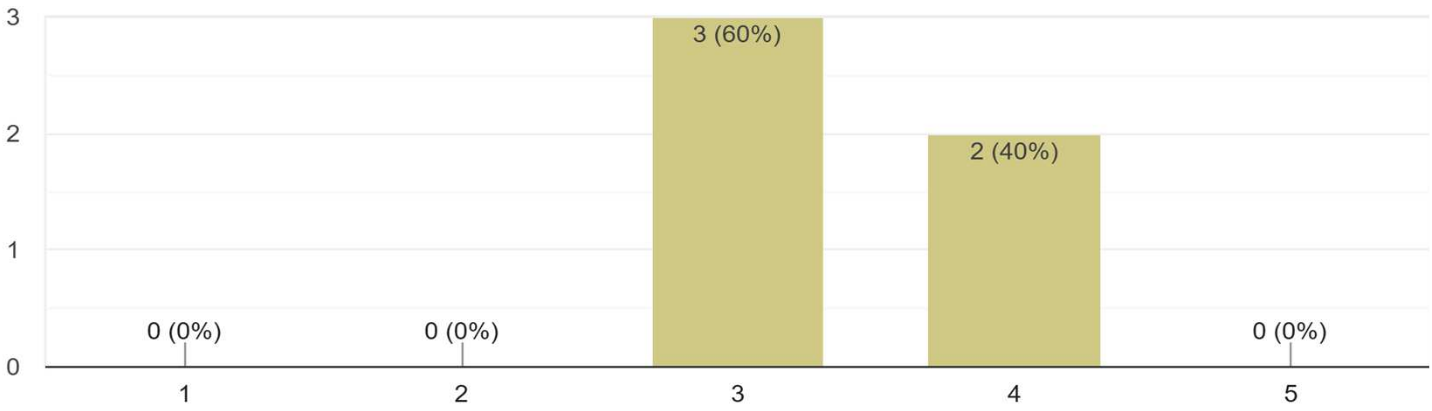
●間近に産業者の人たちと交流ができること、本格的な体験ができる。
温泉、ビーチ、山、お城、街が全部揃っていること。景色が綺麗。 人の温かさ

モニターツアー参加者アンケート結果

市街地評価

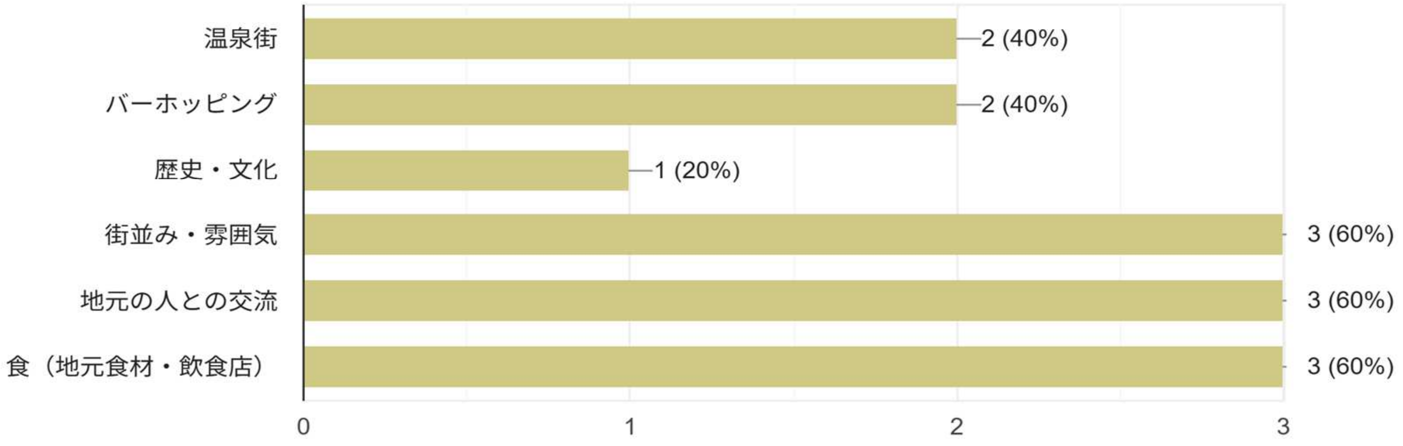
4.洲本市市街地体験全体の満足度 （1＝非常に不満 ／ 5＝非常に満足）

5 件の回答



5-1.特に洲本市の市街地で魅力的だと感じた要素（複数可）

5 件の回答



5-2．5-1の特に魅力的だと感じたそれぞれの理由をお教えください。（4 件の回答）

●お食事の食材の味わいの深さは、さすが淡路島！と感じるものばかりでした。 地理的な土地の個性、城下町でもあり、港もあり、淡路島の中心地であった街の雰囲気は個性的だと感じることができました。店（雑貨店やカフェなど）のバリエーションが富んでおり、惹かれる場所を探し回る楽しみを感じました。

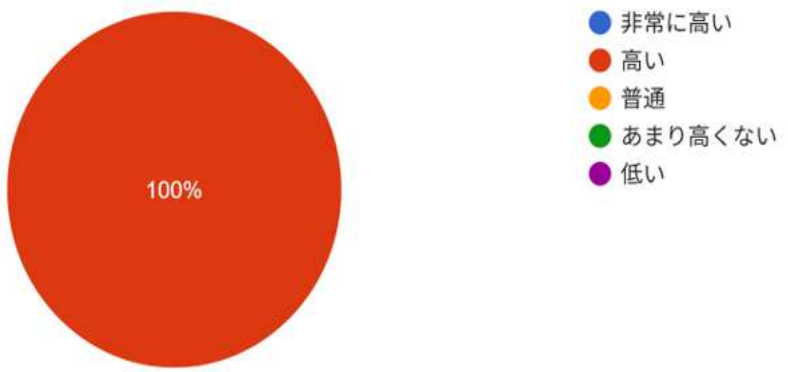
●温泉街、海、城跡が全てコンパクトにまとまっているのが魅力的だと思いました。一つの場所に複数の魅力があるというのは旅行先として選択する際に候補に上がりやすいかと思うので、とても重要な点だと思いました。

●素材と食事

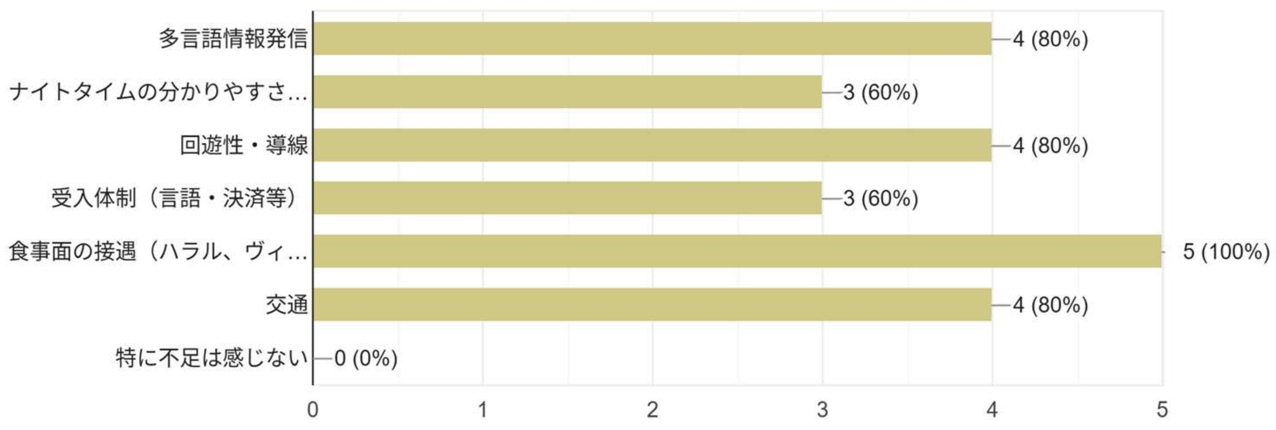
●温泉のすぐ近くに泳げる海があることは実に貴重な観光資源だと思いました。 また、歩ける範囲で数多くの飲食店があり、観光客も暇せずに、地元の方と交流しながら美味しいものが食べられるお店が多い印象がありました。ホテルも驚くほど数がり、三世代向けのコンテンツにふさわしい場所だと思いました。 体験で出会った方々、皆さんとても暖かく、ストーリーがあって、素敵な方ばかりでした。

モニターツアー参加者アンケート結果

6.洲本市市街地の外国人旅行者向けコンテンツとしての可能性
5 件の回答



7.市街地のインバウンド商品として成立させるために、特に不足していると感じた点（複数可）
5 件の回答



8. 市街地について改善するとよいと感じた点
5 件の回答

●主体的な情報整理。あるものをただ紹介するのではなく
・地元の人からどのように使われているのか
・かつでの暮らしの中で、どのような位置付けだったか
・周辺地域との関係性
・地元の人のオススメの巡り方
・地元の人のお気に入りポイント
など、見えるものを紹介するのではなく、「人を介して感じれること、体験して欲しいこと」などをまとめて行くと、心に響く情報になると思います。
「市街地エリア」に関してはもっと事前にどんな場所がどんな風に大切にされているか知りたかったです。
ゲストが、それぞれの場所で感じれる「感度を高める」情報が不足していると感じました。
また、温泉街と市街地エリアのつながりの希薄さを感じました。
宿泊地で、市街地エリアを散策したいと思える情報に出会えなかった。「関係性を感じる街」には、シェアの暖かさや信頼感を感じれます。その辺りが物足りないです。

●レストラン、バー　英語メニュー

モニターツアー参加者アンケート結果

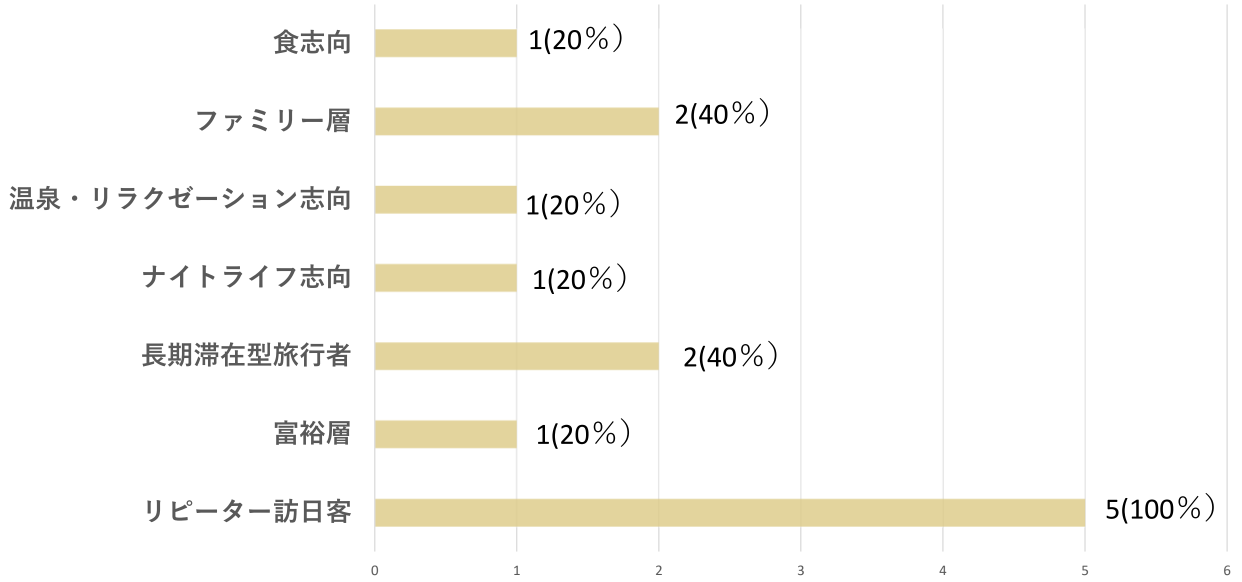
●はっきりとしたコンテンツ（モデルコースを含む）は、現時点ありません。コンテンツの見せ方に工夫が必要だと強く思いました（HP、観光冊子、ホテルに置かれている案内など）
また、街全体の一体感がなく、例えばスタンプラリーや「洲本仲良しマップ」のようなものがあれば、Aに行ったらBに行ける、BからCに行けるような仕組みがあればわかりやすいと思いました。

●交通のアクセスが悪いので、車で来ないと選択肢が少ない。
英語（他の言語）でのコンテンツが少ない・英語の表記追加すること・英語の地図を分かりやすいこと（街の入り口的なところに置く）
ベジタリアンの表示がほぼほぼないので、あったら助かります。

●温泉街、海、城跡など魅力的な要素が揃っているものの、どれも「それなりに魅力的」な程度で、コンテンツとしての磨き上げやプロモーションが必須かと思いました。「（温泉/海/城）は他の場所と比べてどう違くて、何がすごいの？」と聞かれた際に何か答えがあると良いと思います。コンセプト、ブランディングをまず進めていき、街の魅力を可視化して欲しいです。
また、交通についても街歩きをするほど城下町や特別な街感はないので、行動範囲が広げられると良いと思いました。
城崎温泉でe-bikeやe-tuktukなどを使い、温泉街の外側に観光客が冒険に行けるようなサービスを提供している「たびぞう」という会社があります。アワードの審査をかねて訪れて、サイト制作を手伝ったのですが、そういった地域内での足や（なんでもない風景だとしても）冒険に行けるワクワク感などが洲本市にもできると楽しいと思いました。

9. 市街地エリアに適していると感じる旅行者層（複数可）

5件の回答

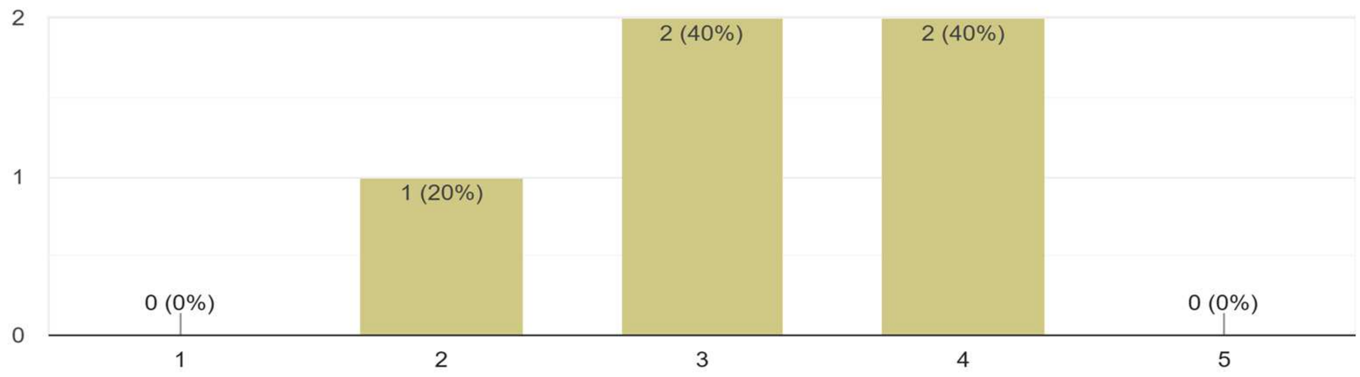


モニターツアー参加者アンケート結果

市街地評価

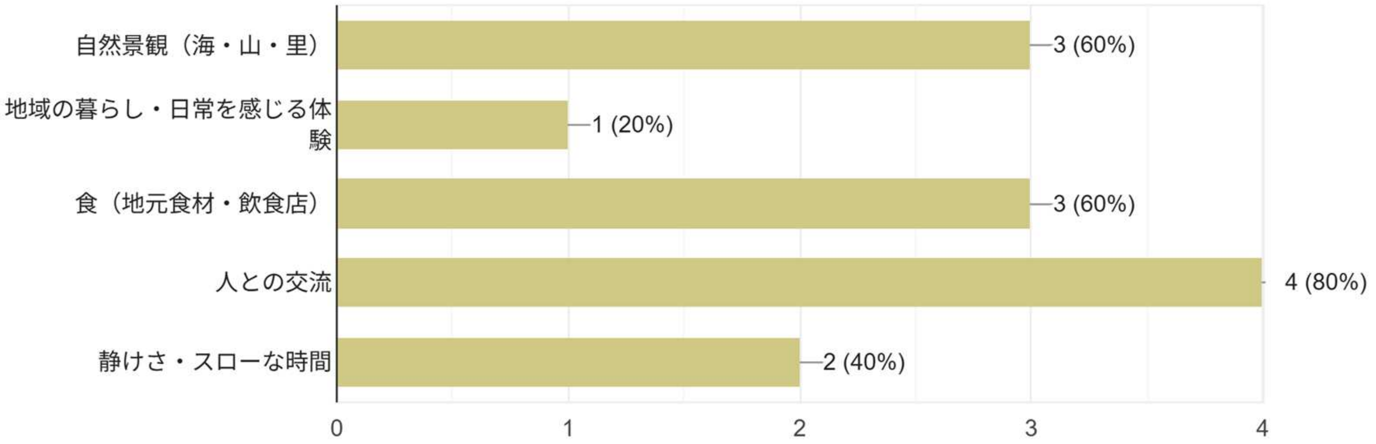
10.五色エリア体験全体の満足度(（1＝非常に不満 ／ 5＝非常に満足）

5 件の回答



11-1. 五色エリアで特に評価したい体験（複数可）

5 件の回答



11-2.　11-1 の特に魅力的だと感じたそれぞれの理由をお教えください。

4 件の回答

●事前に五色エリアにて期待していたのは、自然と調和したスローな人との交流でした。今回、塩作りや食事、移住された方との会話は大変満足できたのですが、気候的な条件もあり五色エリアの理解は十分ではない印象です。
おそらくこのエリアには、人の横のつながりがもう少しある印象があり、住人の関係性や、それぞれがどのような思想を持ってこの地域で暮らしているかなど、やっている事とは別に在り方や地域に対する思想を知ることができると、とても特別な価値を見出せる気がします。
自然を観光客にただ見せるだけではなく
この地域に住んでいる人を介して、洲本の自然の魅力を表現できれば良いと感じました。

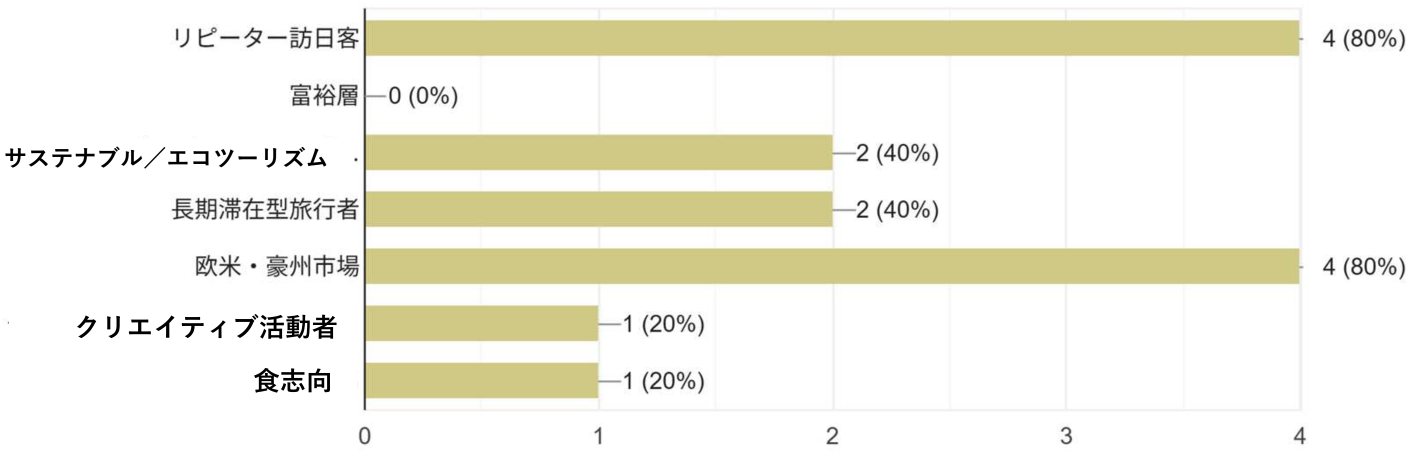
●地域に魅力を感じて、わざわざ住んでいる人・働いている人など、面白い人がいるイメージを持ちました。

●人と体験。日常を感じる体験が特に良かった。

●自然が豊かで、景色が素敵、とても新鮮な海鮮＋食事が楽しめるので、ゆっくり自然と一緒に過ごしたい人にぴったりです。人も優しいし、声をかけてくれてローカルの人に交流ができるのが魅力。

モニターツアー参加者アンケート結果

12.五色エリアに適していると感じる旅行者層（複数可）
5 件の回答



13. 五色エリアを商品化する場合、重要だと思うポイント、改善するとよいと感じた点など
5 件の回答

●「11」の回答にも改善点を記入しております。
見せるだけの自然ではなく、この地域の自然環境の個性（他の地域との違い含め）をインタープリテーションできる方を介した、土地との会話を楽しめる体験コンテンツ
例えば
塩×海・水・日本人の暮らし・技・世界との違い
自然農法×土地・日本の地形の特性・収穫できる種類の豊かさ＝土地の豊かさ・世界との違い・周辺地域との違い
その他
「ただ何もしない」をする空間。
「何もしない」を徹底できる空間。
アーティストが制作をできる空間の提供。

●もちろん地元住民の方（農家さんなど）との交流もできれば良いと思いますが、移住組との交流も良いと思いました。この地に魅力を感じ、わざわざ移り住んできた人や、自分の個性的なビジネスを始めた方などがいると思うので、元々住んでいる地元住人の方やそういった移住してきた方々が観光客を仲間に迎え入れてくれるような雰囲気作りや体験作りができれば良いと思いました。
例えば、どこかに宿泊してゆっくり過ごしていたとしても、「地域の人が果物や作物を持ってきてくれる」という田舎では当たり前のことを観光客に体験としてさりげなく提供するなど。あまり観光の文脈で無理に商品造成をすべきではないと思いますが、暮らしの仲間に入れてあげる土壌ができると面白いと思いました。

●60-90分で何をどう見せて伝えるのか?、ハイライトを入れる。

●１。多言語のいいデザインのウェブサイトとSNSでデスティネーションの認知度を上げることが最初にやるべきと思います。
２。ガイドの育成ーいいコンテンツができてもガイドがよくないと良さが伝わらないので、産業者の人とガイドと一緒にコンテンツを制作することが大事

モニターツアー参加者アンケート結果

洲本市全体の観光価値・市場適性について

14.洲本市は、他の日本の観光地と比べてどのような点がユニークだと感じましたか
5 件の回答

●現在の中心地は東京ですが、かつての日本の中心地が奈良や京都であった時代から、淡路島を囲む海の環境はとても特別でした。日本全体を見た時に、関西のそれぞれの地域の個性や、その中の淡路島を見た時に、地形的に生み出す個性が面白いと感じています。
点での紹介ではなく、エリアや、エリア間の関係性も含めた面での紹介は、淡路島の役割が際立ってとても興味深いです。
石垣を通して、日本人の価値観を伝えることもできます。
姫路城や、大阪城など、人気の城はたくさんありますが、石垣の個性が全く異なります。
ネットフリックスやディズニーチャンネルを介して日本戦国時代作品が以前よりも理解しやすくなっているからこそ、共感の壁は以前よりも下がっているので、洲本城だからこそ伝えれる価値を正しく伝えて、他にはない個性として愛されて欲しいです。

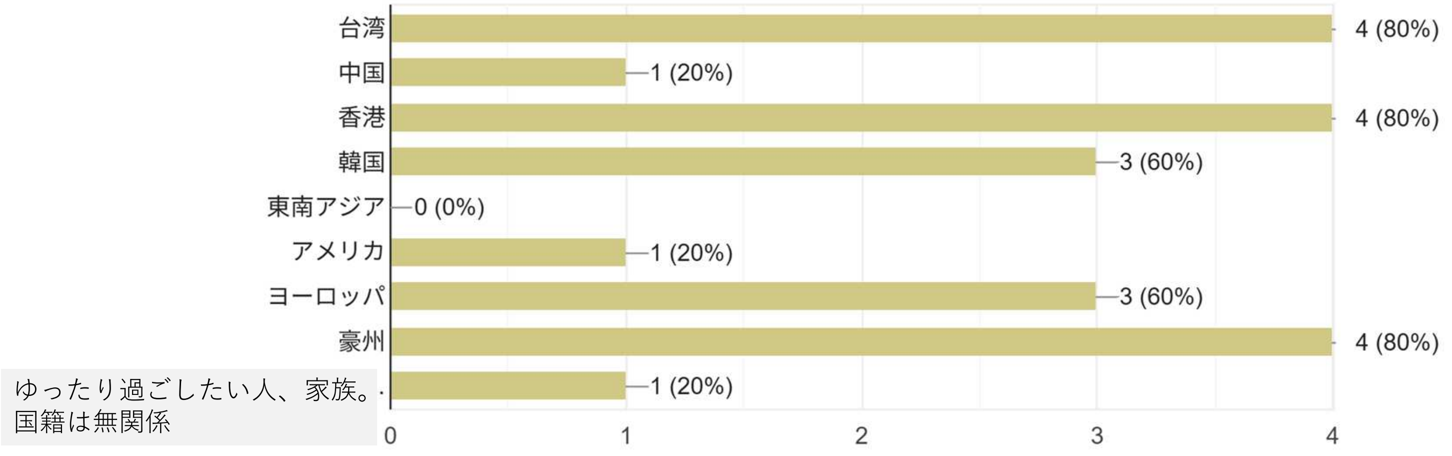
●淡路島の中心にある、アクセスと利便性がユニークだと感じました。洲本市をベースに淡路島を楽しめるような、観光の拠点としてPRすると「街の魅力」ということに捉われすぎずに、等身大のまま観光や地域づくりを推進できるような気がします。無理に観光を作ろうとすると、結果どこも同じようなコンテンツになってしまうので、今のままで受け入れる観光客の幅を広げていく形で進めていけたら良いと思います。

●人々の暮らしの豊かさ

●城・ビーチ・温泉がキラーコンテンツ。それらを繋げて、わかりやすいコンテンツを作っていけば、インバウンドにもアプローチしやすいです。街全体を巻き込むマップ（パスポート？）があればいいと思いました。ここに何がある、何ができるかを明確にする必要があります。
「洲本の朝活」が実にいいコンテンツになると思います。（夜のバーホッピングも）ビーチでの朝ごはん、お城での絶景朝ごはん、ビーチヨガ、ピクニック、朝ホッピング（空いてるお店・カフェなどをセレクトするなど）

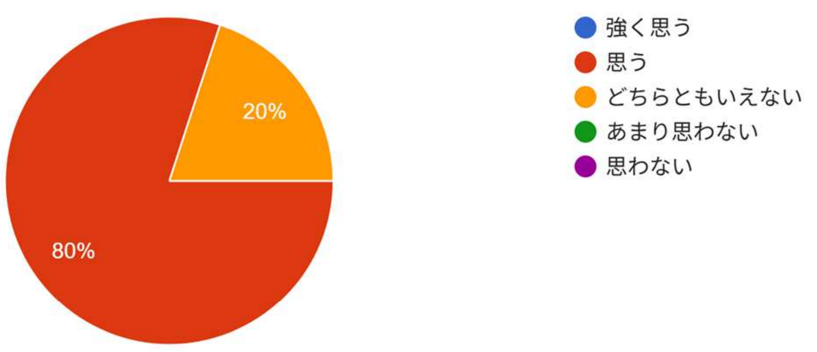
●本格的な体験ができること（近くからセリが見学・参加することができる/海の塩作り体験はほかのところでできない）
温泉ビーチお城など全部が揃っている。

15． 洲本市が特に適していると感じる国・地域（複数可）
5 件の回答

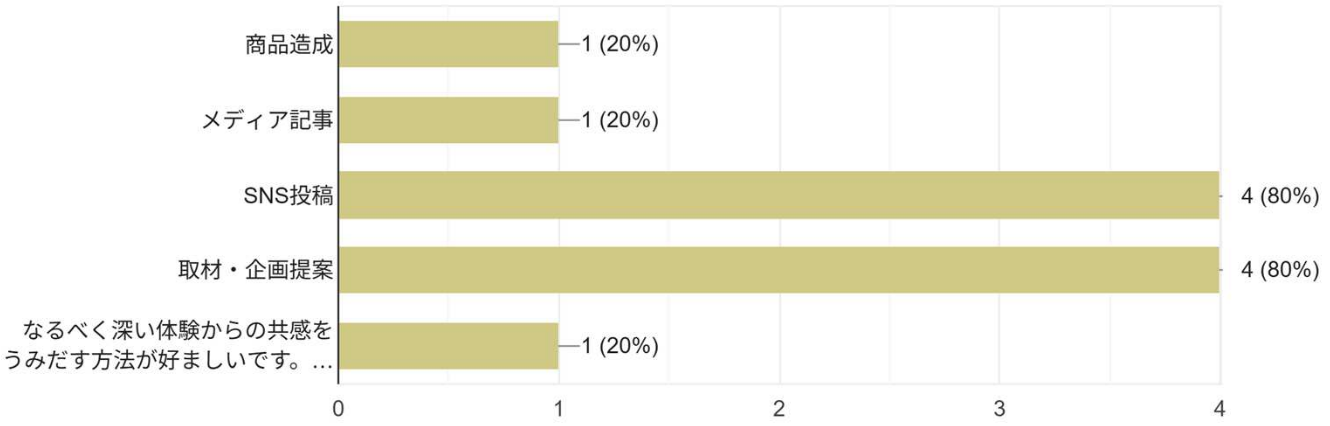


モニターツアー参加者アンケート結果

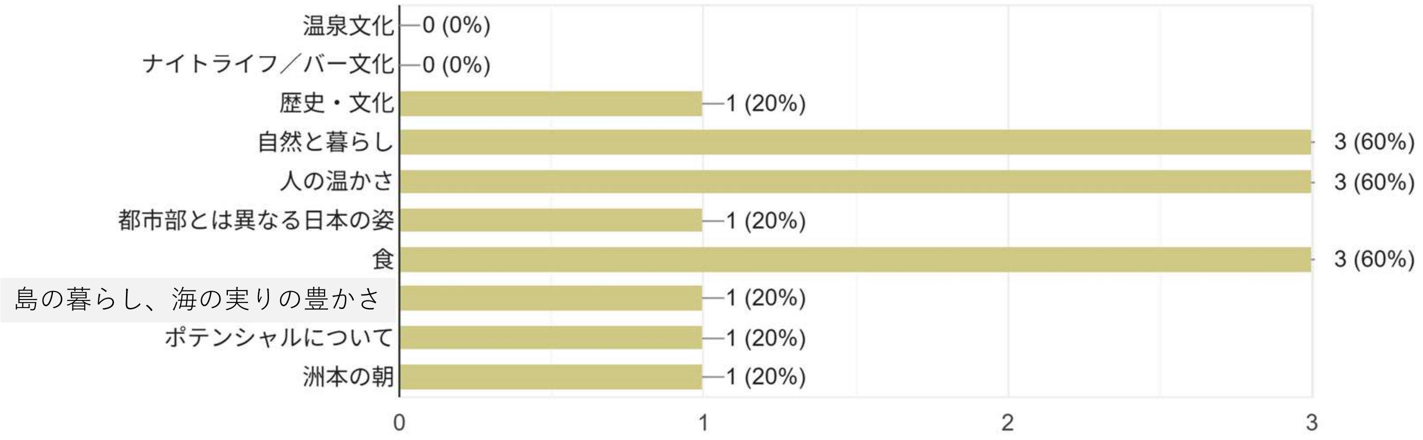
16. 今回の体験を、あなたの立場で発信・活用したいと思いますか
5 件の回答



17.発信・活用する場合の方法（複数可）
5 件の回答



18. 発信する際に特に強調したいテーマ（複数可）
5 件の回答



モニターツアー参加者アンケート結果

19. 洲本市が今後、インバウンド向けに優先的に強化すべき点をお教えください
5 件の回答

●①情報整理。住民主体、参加型の誘導。それぞれがそれぞれの好きなポイントを見つめ直せれれば。住民全員自信満々！
オススメポイント即答できる状態だと（私が）嬉しいです。
地域を大好きな人が案内してくれる場所は、とても印象に残っています。
（そのために、他のエリア。地域との違いを見直すと地元の優位性を感じれると思います。移住者や外からの視点、意見を収集していってもヒントになると思います）
②情報発信。
媒体や視覚的に見れるものはデザイン性もかなり印象を左右します。
選択をする立ち位置の方は、多くの情報を見比べています。
その中で、ただ綺麗に配置している情報は見劣りします。
デザインを通して、伝えたいメッセージを届けることもできるので、情報の多い時代だからこそ、制作する時のデザインも注視したいところです。、
また、フォーマットにハマらず、人の顔がみえる発信が最近は好まれています。

●① コンセプト：この場所はなぜわざわざ観光客が行くべきかという理由をしっかりと作る必要があります。（例：家族連れにやさしい、ゆったり楽しめる場所など）
② 仲間作り：そのコンセプトに共感してくれる、観光で街を盛り上げようという仲間が地域に増えると良いと思います。
③ ②を達成するために、住民に対して観光客が来ると観光に関係のない地域住民にとって何が良いかという説明ができるよう、行政と民間がアイデアを出し合って説明をしていく。

●コンテンツ造成、市場理解

●コンテンツの見せ方　（まず、HPから）、観光雑誌、ホテルと連携

●①多言語のいいデザインわかりやすいウェブサイトとSNSでデスティネーションの認知度を上げることが最初にやるべきと思います。
②街中を探索するための多言語パンフレットなどを作る

20.特にインバウンド向けに可能性が高いと感じたコンテンツがあれば、その理由とあわせて教えてください。（エリア・体験・時間帯・組み合わせ等、自由にご記入ください）
5 件の回答

●海でのゆっくり時間。城（穴太衆積みの価値を日本国内の他の城との違い、世界との違いをしっかりわかる丁寧な説明ができると、日本のここだけの個性）温泉。できれば地域と連携した温泉街の街づくりがいいです。
ただ、街全体の雰囲気がすでに個性あると感じているので、それを住人の方々が言語化、可視化できる場を育てていければ良いと感じています。
暖かいご案内をいただき、ありがとうございました。
今回のファムでは造成者の方々の熱を感じれて、とても楽しみに感じています。
インバウンドを考えた時に言語対応など何かを作る・何かをすることを考えがちですが、行動の前に
・ここで他とは異なるどのような体験をして欲しいか
・ここで他とは異なるどのような情報を伝えたいか
届けたいことがクリアになれば、言葉が十分でなくても今は手段が色々あるので想いは伝わると思います。
たくさんの準備をしていただき、ありがとうございました。

●アクセス

●石垣の歩き方　　穴太衆を講師にした石垣の楽しみ方

●温泉・海・お城の３柱コンテンツ。塩作り、食のわ。三世代旅行コンテンツ。

●体験つき食文化と景色の組み合わせが一番インバウンド向け可能性に高いコンテンツだと感じていました。